

天皇皇后両陛下 那須高原ビジターセンターで訪問

昨年7月、天皇皇后両陛下が那須高原ビジターセンターを訪問されました。その日は雨上がりの曇り空。暑くもなく過ごしやすい一日でした。

両陛下は、ビジターセンターにいられていた大勢の一般利用者の方々と歓談されながら、展示室やラウンジをゆっくりまわられました。那須岳などの登山道を足踏みしながら体感できる映像展示を体験されたほか、那須の花々の写真パネルや、那須とご皇室との関わりについて紹介した特別展示室などをご覧になりました。那須の森の生きものたちを紹介したブースでは、クマの前足を模したぬいぐるみを手にはめてくださり楽しまれている様子でした。(那須自然保護官事務所 柘植規江)



那須平成の森基金 (サポーターの会) からのお知らせ

●実施報告

冬のための準備隊

日時：平成24年12月16日(日) 10:00～13:00

場所：ふれあいの森

主催：那須平成の森・那須平成の森基金

- 那須平成の森では冬の間、ガイドウォークの参加だけでなく自由散策もできます。そのため、今回はスノーシューを履いて歩くための遊歩道の整備を行いました。風が強い日でしたが、ルートが目印となるテープ付けや危険箇所を知らせるサインポールの設置、さらに分岐道への立ち入り禁止ロープの張替など、無事に終える事ができました。
- 参加されましたサポーターの方からは「利用者の方が自分の設置したサインテープを目印に歩いてくれることを考えると嬉しくなる」という感想をいただきました。
- 今回はじめて、サポーター会員の方にボランティアで森の整備をしていただきました。予定よりもスムーズに作業が進み、作業中の会話を楽しむこともでき、意見交換の場としても有意義なものとなりました。
- 今後もサポーターの皆様と共に活動できる企画をまいります。

平成25年度サポーター会員募集!

当基金では、那須平成の森における取り組みを応援して下さる「那須平成の森サポーター」を募集しております。会員にお申し込みいただくと会員証やオリジナルピンバッジ、那須平成の森通信などを送付いたします。

*平成24年度の会員登録をされている方は、3月末で登録期限を迎えます。

登録更新は1月より行っておりますので、次年度もあたたかいご支援をお願いいたします。



冬のための準備隊
活動風景

那須平成の森



■お問い合わせはこちらへ

[那須平成の森の活動内容、プログラムや自然情報については...]

那須平成の森フィールドセンター
4月～11月 9:00～17:00 12月～3月 9:30～16:30
〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙3254
TEL 0287-74-6808 FAX 0287-74-6809
HP <http://www.nasuheiseinomori.go.jp>

[日光国立公園那須甲子地域については...]

那須高原ビジターセンター
4月～11月 8:30～17:30 12月～3月 9:00～16:30
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2
TEL 0287-74-2301 FAX 0287-74-2302
HP <http://www.nasuheiseinomori.go.jp>

[モニタリング調査、那須平成の森の全体計画等については...]

環境省関東地方環境事務所 那須自然保護官事務所
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2-2F
TEL 0287-76-7512 FAX 0287-76-7513
HP <http://kanto.env.go.jp/>



那須平成の森へのアクセス

※那須平成の森にはバス(那須バス)とタクシー(那須タクシー)が運行しています。バスは那須高原ビジターセンターから約15分、タクシーは那須高原ビジターセンターから約10分です。

こんな顔して、待ってます!

冬の森の楽しみ方。それは冬芽(ふゆめ)の観察。ふくらみの中に入っているのは小さく小さくたたまった葉っぱや花。森の木々は春になったらすぐ、葉っぱや花を出せるように準備をしています。そして、葉っぱを落とした跡には、目や口もあって、“顔”のようにみえます。

写真は、冬の那須平成の森の木々たちの“顔”。いろいろな顔して春を、みんなを待っています。



写真の冬芽の種名一覧

ミスナラ	アワブキ	マユミ	リョウブ
ノリウツギ	ヤマウルシ	ヤシャブシ	ガマズミ
ウリハダカエデ	レンゲツツジ	アオダモ	

【炎がみえるストーブの周りで】



ラウンジで、炎がゆらゆらと燃えているのはペレットストーブです。ペレットとは、国内産の間伐材や木くずなどを粉にして固め粒状にした燃料で、出した二酸化炭素が木材を育てると

いう循環型の自然エネルギーです。燃焼温度も高く、二酸化炭素やダイオキシンの排出も大幅に削減できます。

その炎がみえるストーブの周り、言葉を交わす皆さんの表情は優しく温かく見えます。スノーシューハイキングや雪遊びから戻り、「寒かったね」「楽しかったね」「あったかいね」と目を見交している光景・・・実はそれが一番の暖かさを選んでるのかもしれない。